



2024年3月期 第1四半期（2023年4月～6月） 決算説明資料



株式会社MCJ

2023年8月4日

2024年3月期 第1四半期（4月～6月）における主なトピックス

業績サマリー

□ 前期下半期に続き利益重視施策継続により各利益は前年同期比大幅増益

- 売上高は期初想定通り前年同期比減収
- 四半期としての過去最高の粗利を確保。営業利益も前年同期比16%を超える増益
- 前期のハードルが特に高いことを想定していた1Q業績は順調に推移

□ パソコン関連事業は想定を上回る利益水準にて推移

- 国内パソコン関連事業は期初想定通り前年同期比減収も、期初予想を上回る営業利益を計上
- 欧州モニタ事業(1月～3月)は好調に推移。四半期として過去最高の営業利益を確保

業績に係る
トピック

□ 総合エンターテインメント事業は前年同期比増収増益

- コロナ禍における構造改革や営業施策の結果、営業黒字が継続
 - ネットカフェ大幅利益増に加え、24時間フィットネス事業も安定した利益を確保

□ 業績は期初想定を上回り推移

- 期初予想における上半期は前年同期比減収減益想定も、1Q各利益は前年同期比大幅な増益。期初予想比で順調に推移

その他
トピックス

□ 日本及び欧州にてESG活動を活発化

- 企業の森（日本）、エコバディス社・サステナビリティ調査で「プラチナ」評価を獲得（欧州）、等*1



*1 詳細は当社HP、リリース等において開示してまいります

第1四半期（4月～6月）連結損益計算書

利益重視スタンスを継続 売上総利益は四半期としての過去最高を更新。各利益共に大幅増益達成

(百万円)	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減金額	増減率
	売上高	50,614	100.0%	45,495	100.0%	△ 5,119
売上原価	39,602	78.2%	33,795	74.3%	△ 5,807	△14.7%
売上総利益	11,011	21.8%	11,699	25.7%	687	6.2%
販売及び一般管理費	6,898	13.6%	6,924	15.2%	25	0.4%
営業利益	4,113	8.1%	4,775	10.5%	661	16.1%
経常利益	3,876	7.7%	4,730	10.4%	853	22.0%
税金等調整前当期純利益	3,873	7.7%	4,726	10.4%	852	22.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,729	5.4%	3,379	7.4%	650	23.8%

利益重視スタンスにて国内外PC事業共に前年同期比減収

国内外PC事業共に粗利率が前年同期比で大幅に改善。四半期として過去最高の粗利額及び粗利率を計上

人件費等増は継続も全体的な経費は期初予想比で抑制コントロール

上記の結果、ハードルが高い前年同期比を超え大幅営業増益を達成

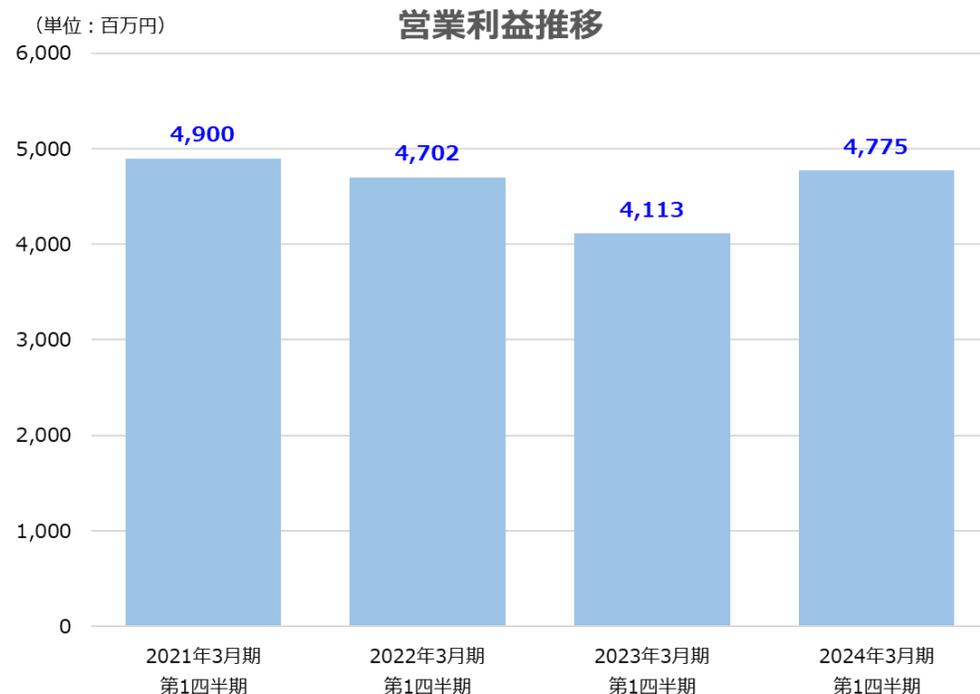
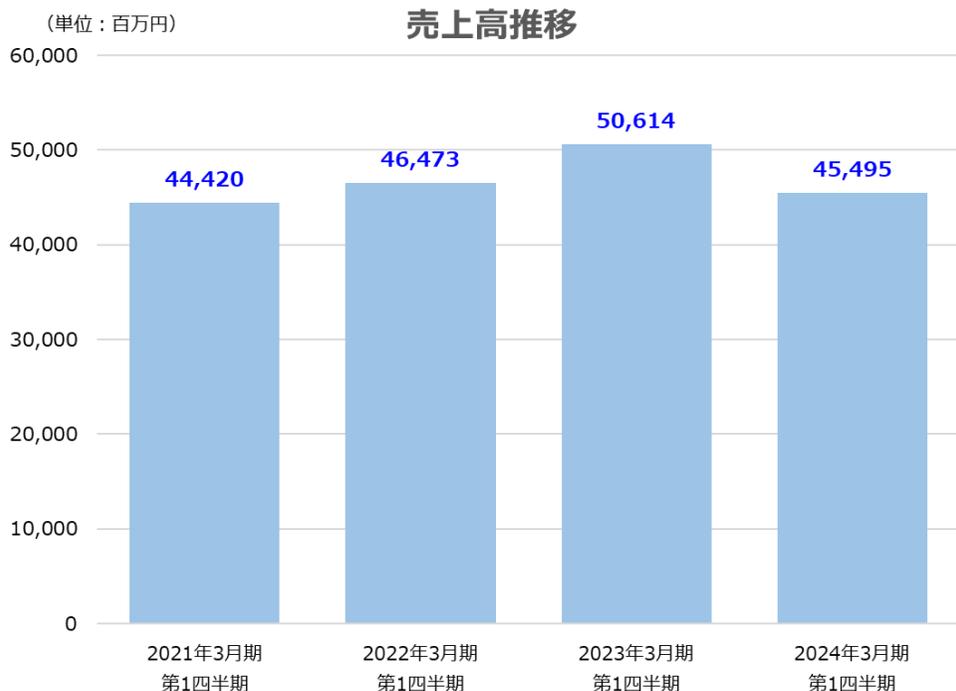
経常利益以下も増益を確保し、期初予想比で順調に推移

第1四半期（4月～6月）連結業績推移グラフ

売上高は期初予想通り減収にて着地も
営業利益は前年同期比及び期初予想を超えて高い水準を確保

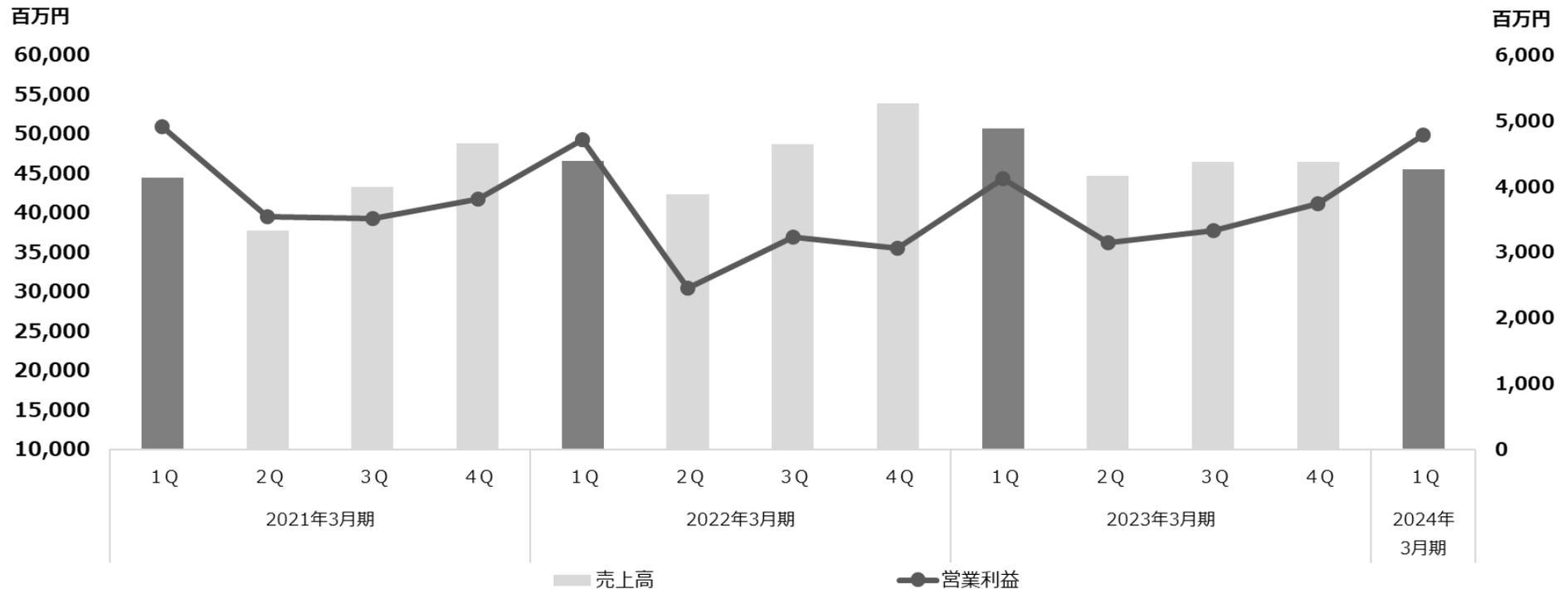
「売上<利益」スタンスにて期初予想通り前年同期比減収も、特需あったコロナ禍における2021年3月期を上回り強い基調が継続

軟調なユーザー需要及び円安基調が継続も
第1四半期としての営業利益は4期連続で40億円を超え、高い水準にて推移



第1四半期（4月～6月）連結業績推移

期初予想通り前年同期比減収も売上高は450億円を超える高い水準で推移
 営業利益は40億円を超え、**四半期利益として過去2番目**の高水準を達成



(百万円)	2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	44,420	37,698	43,253	48,799	46,473	42,290	48,627	53,855	50,614	44,633	46,378	46,449	45,495
営業利益	4,900	3,540	3,514	3,803	4,702	2,445	3,230	3,057	4,113	3,136	3,328	3,740	4,775

参考) 第1四半期 (4月~6月) 上半期連結業績予想に対する達成率及び進捗

上半期は前年同期比減収減益予想。特に利益面でのハードルが高いと想定していた1Qは、**期初想定以上の増益を各利益にて達成**。計画達成に向け順調なスタートとなる

(百万円)	上半期連結業績予想に対する達成率		
	2024年3月期 第1四半期実績	2024年3月期 第2四半期累計期間 業績予想	達成率
売上高	45,495	90,800	50.1%
営業利益	4,775	6,900	69.2%
経常利益	4,730	6,900	68.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,379	5,000	67.6%

各利益共に1Qにて上半期業績予想の7割弱を既に達成する等、期初業績予想を上回る水準で推移

参考) 第1四半期 (4月~6月) 上半期連結業績予想に対する実績推移

【上半期 期初業績予想_前年同期比】

(百万円)	2024年3月期 第2四半期累計期間 業績予想	2023年3月期 第2四半期累計期間 実績	対比
売上高	90,800	95,248	95.3%
営業利益	6,900	7,249	95.2%
経常利益	6,900	7,391	93.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,000	5,190	96.3%

前年同期の1Qの利益水準のハードルの高さ及び足元の事業環境を鑑みて、**期初予想の段階では上半期は減収減益の想定** (下半期は増収増益想定)

【第1四半期実績_前年同期比】

期初予想の段階では上半期にて5%前後の前年同期比減益を想定も、実績は**前年同期比20%前後の増益基調**で推移。売上高は期初予想にほぼ沿った水準で推移

(百万円)	2024年3月期 第1四半期実績	2023年3月期 第1四半期実績	対比
売上高	45,495	50,614	89.9%
営業利益	4,775	4,113	116.1%
経常利益	4,730	3,876	122.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,379	2,729	123.8%

セグメント情報 第1四半期 4月～6月実績

パソコン関連事業

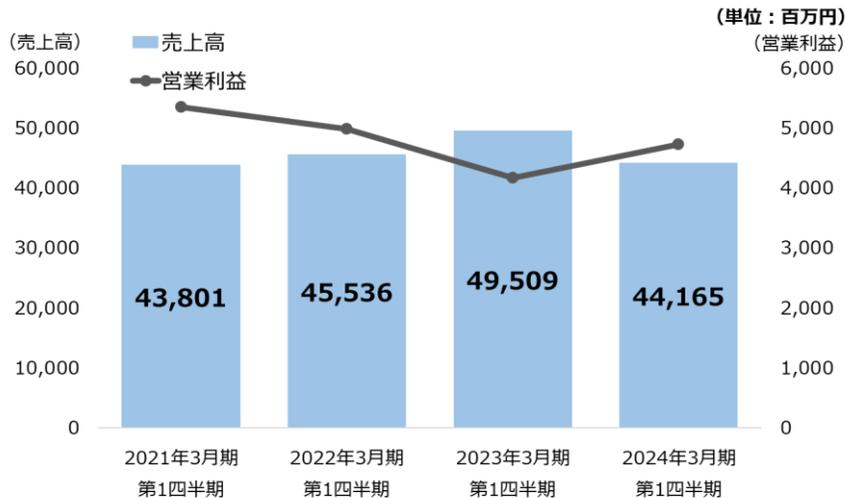


➤ **売上高 441億円（前年同期比10.8%減）**

- 国内パソコン関連事業は**期初予想通り減収**
- 海外事業（1月～3月）は**iiyamaが期初予想通り減収も、R-logicは増収基調が継続**

➤ **営業利益 47億円（同13.5%増）**

- 国内パソコン関連事業は**期初予想通り減益**
- iiyamaは**四半期としての過去最高の営業利益を更新**。R-logicも**利益大幅増が継続**

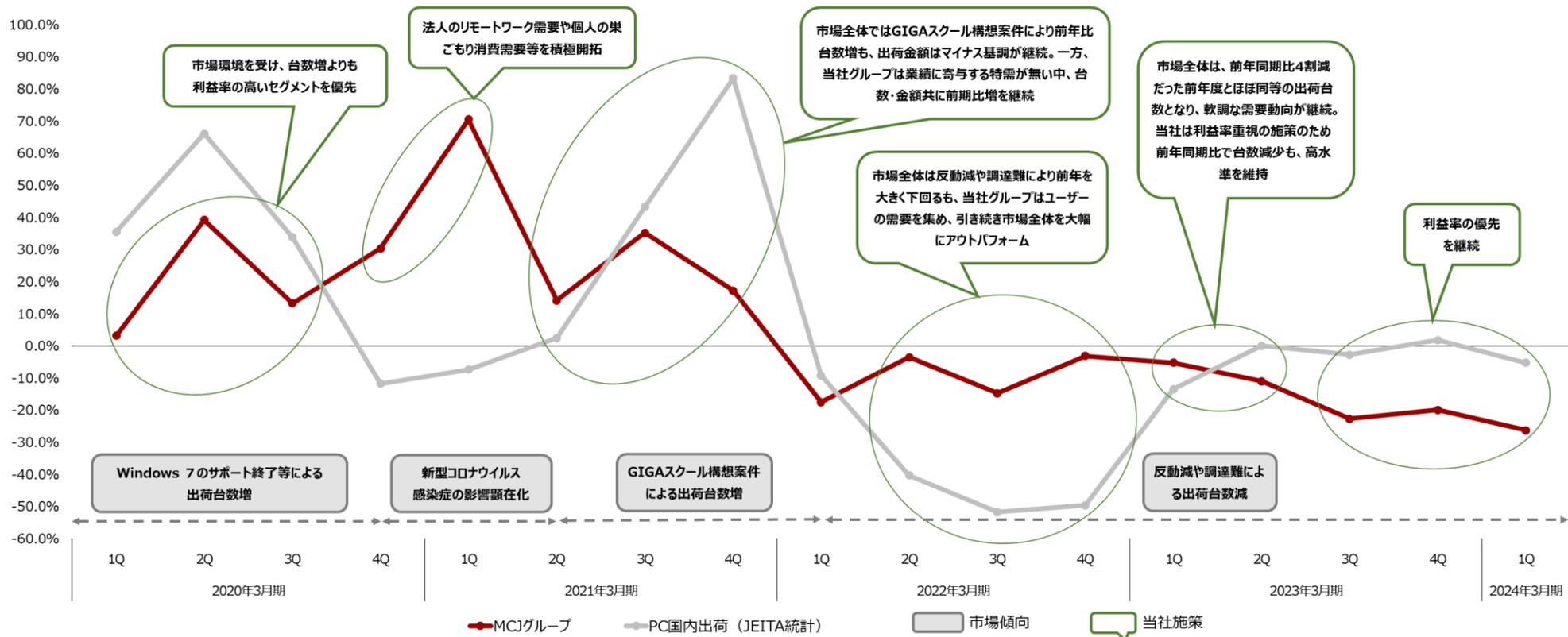


パソコン関連事業 (百万円)	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	49,509	97.8%	44,165	97.1%	△ 5,343	△ 10.8%
営業利益	4,161	101.2%	4,721	98.9%	560	13.5%

※ 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、「連結売上高」数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。なお、構成比は、「連結売上高」数値を基に算出しております。

国内パソコン出荷台数増減率の推移

国内PC市場全体は、1Qとしては4期連続で前年同期比での出荷台数マイナスが継続
事業環境を鑑みて当社グループは引き続き政策的に「売上<利益」スタンスを維持



※ 上記グラフは、四半期（会計期間）ごとの出荷台数実績を前年同期と比較したものです。

セグメント情報 第1四半期 4月～6月実績

□ **総合エンターテインメント事業**：株式会社aprecio、株式会社MID
【ネットカフェ、24時間フィットネス、接骨院・整体院、ホテル運営事業】

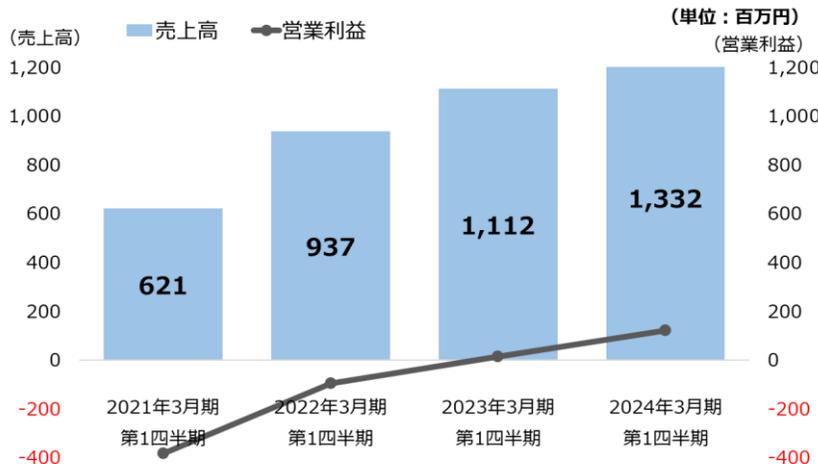


➤ **売上高 13.3億円（前年同期比19.8%増）**

- コロナ禍における行動制限の撤廃を経て、提供するサービスの利用客数は継続して上昇
- ネットカフェ事業、24時間フィットネス事業を中心に増収を達成

➤ **営業利益 1.2億円（同828.8%増）**

- 主力事業であるネットカフェ事業が1Qにおける営業黒字転換を果たすなど順調に推移
- 注力事業である24時間フィットネス事業も引き続き安定した利益を確保



総合エンターテインメント事業 (百万円)	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増減額	増減比率
売上高	1,112	2.2%	1,332	2.9%	220	19.8%
営業利益	12	0.3%	120	2.5%	107	828.8%

※ 上記表には、連結消去及び全社費用等の金額が含まれていないため、「連結売上高」数値と各セグメント数値の合計値とが異なります。なお、構成比は、「連結売上高」数値を基に算出しております。

再掲) 2024年3月期 連結業績予想

期初予想の必達を前提に保守的な数値を想定

上半期は前期1Qのハードルが高く減益を想定も、通期では前年同期比増収増益基調を前提とする

(百万円)	2024年3月期					
	2024年3月期 第2四半期累計計画	売上高比率	対前年同期 増減率	2024年3月期	売上高比率	対前年 増減率
売上高	90,800	100.0%	△4.7%	194,600	100.0%	1.8%
営業利益	6,900	7.6%	△4.8%	14,300	7.3%	△0.1%
経常利益	6,900	7.6%	△6.7%	14,300	7.3%	2.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	5.5%	△3.7%	10,100	5.2%	5.2%

- 国内パソコン事業が業績を牽引
- 事業環境や原材料調達リスク等を鑑みて利益率は引き続き保守的に想定
- 総合エンターテインメント事業は黒字化継続

再掲) 通期連結業績計画に対する前提及び考え方

計画についての補足事項

計画策定に係る前提

■ 市場環境

- Windows7更新需要やコロナ需要、政策（GIGAスクール）などで需要の前倒しが発生
- また、各種生活コスト上昇に伴うコンシューマーセクターでの弱い動きは継続
- その為、**短期的には市場全体は軟調に推移する事が予想され、2024年3月期もその動きが継続の想定**

■ 当社状況

- 当社については、当社固有要因で過去にも市場環境如何によらず成長をしてきており、引き続き**独自に成長を図れるポジション**にいるものと認識
- 調達環境については**2024年3月期も過度に期待せず、むしろ保守的に想定**

《2024年3月期計画策定の定性情報》

【パソコン事業】：好調が継続

- ✓ 国内事業においては市場は軟調な推移の継続が見込まれる中、当社については成長市場への注力や顧客ベースの拡大策の深堀により、**前年同期比での増収増益**を見込む
- ✓ 海外事業においてはロシア・ウクライナ問題、インフレ動向などにより**保守的な数値を想定**
- ✓ 利益率は全体的に保守的に想定

【総合エンターテインメント事業】：黒字定着を想定

- ✓ 24時間フィットネス及びネットカフェの好調により、**増収増益**を見込む

《数値に係る前提及び補足》

- ✓ **実態としては好調**を見込む
- ✓ ただし、**ベースアップを含めた人件費増及び水道光熱費等の各種コスト増**を見込む（販管費の大幅アップ）
- ✓ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）等の適用の影響が継続
- ✓ 以上の結果、**前年同期比増収増益**（営業利益はほぼフラット）を見込み、**売上高は過去最高の更新**を想定

株主還元① 配当金について

2024年3月期の配当金予想は増収増益を見込むこともあり
前期比での増配継続を前提とする

	実績					予想
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月	2024年3月期
年間1株当たり 配当金	20円50銭	23円50銭	31円00銭	32円00銭	33円00銭	34円00銭
配当性向	30.2%	30.6%	30.5%	33.9%	33.9%	33.3%

□ 2024年3月期1株当たりの予想期末配当金額は34円00銭と想定

» 前期比増配の継続を優先：**11期連続での増配**を見込む

株主還元② 株主優待制度について

引き続き2023年3月期も株主優待制度を実施

①1,000株以上

1万円相当の当社オリジナルカタログ
(グループ製品及び飲食料品を予定) より1点選択 + ②

<商品一例>
ゲーミングデバイスセット / 21.5型液晶ディスプレイ
パソコン工房1万円商品券 / 米沢牛すきやき肉
うなぎ蒲焼 / アイスセット / 日本酒セット 等



②100株以上1,000株未満

『パソコンワンコイン診断サービス』利用券
(500円×2枚)





Appendix

- 商号** : 株式会社MCJ (英語表記 MCJ Co.,Ltd.)
- 設立** : 1998年8月
- 代表者** : 代表取締役会長兼CEO 高島 勇二
代表取締役社長兼COO 安井 元康
- 資本金** : 3,868,102,900円
- 従業員数 (連結)** : 3,686人 ※うち臨時職員1,406人 (2023年3月末)
- 発行済株式数** : 101,774,700株 (同上)
- 証券コード** : 6670 (東京証券取引所スタンダード市場上場)

MCJグループ 主要子会社紹介



長期的な経営ビジョン ～ハードウェア×サービスの両輪による成長～

経営ビジョン及び事業方針

相乗効果

取扱製品（ハード）
の拡充

コンテンツ・サービス分野
への事業領域の拡大

設定の背景/考え方

情報に「アクセスする、発信する、共有する」手段としてのデバイスの多様化とユーザーニーズの多様化

- 形は変われども情報への接点としてのハードウェアは無くならない
- ハードウェアは成長産業

ハードウェア・サービスはそれぞれ独立関係ではなく、相互依存関係であり、ビジネスとしても一貫して捉えるのが自然

- ハードウェアよりも事業ドメインは意外とスタティックな世界
- ハードウェア以上の成長ポテンシャル

方向性/目標

- PC、モニタへの注力は継続
 - » 日本・欧州における更なる成長を模索
- コンシューマーハードウェア / 法人向けハードウェア...
 - » 成長市場へのアクセスを図る

- 既存ハード事業と親和性のあるサービス等の開拓
 - » 日本市場を中心としてスタート
- コンシューマー/法人向けサービス...
 - » まずはスモールスタート

目標達成手段

- 自社グループによる開発
- アライアンス戦略による拡大
 - » M&A、ベンチャー投資、事業提携...

- M&Aによる事業ドメインの拡大
- アライアンスによるサービス多様化
 - 当初はV B 投資 / 少額M&Aにて着手

経営上重視するKPI



重要視するKPI	実績数値及び目標数値		
	2016年3月期実績	2022年3月期実績	中期経営計画期間における目標
営業利益率 <営業利益/売上高>	5.0%	7.0%	7%以上 連結ベースで7%以上を目安に事業運営及びポートフォリオ管理を実施
ROIC <NOPAT/事業性投下資本>	12.4%	19.0%	15%程度以上 資本コスト比スプレッドを確実に取る事を前提とし、資本効率を意識した事業運営及びポートフォリオ管理を実施。その前提で下限値を設定
ROE <当期純利益/期中平均株主資本>	13.0%	16.9%	
配当性向 <1株当たり配当金/1株当たり当期純利益>	20.5%	33.9%	30%以上 下限を30%と設定し、M&Aを含む成長投資機会との兼ね合いにて都度判断
DOE <ROE×配当性向>	2.7%	5.7%	4.5%程度 成長投資と株主還元のバランスを意識した経営を行うべく設定
総還元性向 <配当 + 自社株買>	20.5%	33.9%	30~40%程度 増配基調の維持を優先。株価水準等により自社株買を実施

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提として作成されており、実際の業績等は様々な要因によりこれらの見通しとは異なる可能性があります。

当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

尚、実際の業績等に影響を与えうる主な項目例は以下の通りとなりますが、将来見通しに影響を与える項目はこれらに限定されるものではありません。

- » 当社グループの事業領域を取り巻く各種経済情勢
- » 当社グループの製品・サービスに対する需要
- » 新製品等開発に係る当社グループの能力及び新製品・サービスの動向
- » M&Aや他社との事業等の提携
- » 資金調達環境、為替動向等の財務を取り巻く環境
- » 事故・自然災害等

< IR及び本資料に関するお問い合わせ >

株式会社MCJ
経営企画室 広報IR担当

Mail : ir-otoiawase@mcj.jp

HP : www.mcj.jp

M

C

J

M

C

J

MCJ
HOLDING COMPANY